

俺と黒い犬と
パンとパンダ

book-fukunokami

俺と黒い犬とパンとパンダ

「俺もパンを食うんだ」

俺は黒い犬に向かって叫んだ。

「パンか？」

「そうだパンだ」

ボン、音がして黒い犬はパンダ色の白と黒の犬になった。

「ああ～、やっちまった、せっかくチョコレート色になるのを避けたのに、白と黒の犬になっちまった」

俺は以前、黒い犬にチョコレートをやらなかったのであった。

「あきらめな、ベイビー、もう俺は白と黒の犬だ」

残念無念だった。